

**国立音楽大学音楽研究所
プロジェクト「楽譜を読むチカラ」
2012年度外部受講生募集要項**

趣 旨

西洋クラシック音楽の演奏の場合に、楽譜を読むことが演奏への第1歩です。しかし楽譜に書かれてある音符をただただ機械的に発音するだけでは、演奏にはなりません。楽譜には演奏に必要な情報がすべて記載されているわけではないからです。

演奏者は作品の書かれた時代の様式、作曲家の個人様式、演奏楽器、同時代の作曲家の作品の比較、演奏史からの情報を用いて、楽譜を「読んで」いかなくてはなりません。

本プロジェクトでは、演奏技法、様式史、演奏理論書、楽器という4つの分野の研究を通して、「楽譜を読むチカラ」とは何か、「楽譜を読むチカラ」を修得するためには、どのような勉強をして、どのような練習をしていけばよいのかを考えたいと思います。

2012年度は、バッハ、モーツアルト、ベートーヴェンの鍵盤楽曲を主たる研究対象としたいと思います。ただし、鍵盤楽器を専門にする方だけでなく、他の楽器を専門する方、作曲や音楽学を専門にする方の参加にも参加していただきたいと思います。

研究会ではワークショップなど、講師と受講生の双方向の形式で、実施したいと思います。

講師は、本研究所の所員と研究員、ならびに学外講師です。

研究会の開催日

水曜日(隔週) 午後6時より7時30頃まで(受付:5時30分より)

(前期:2012年4月11日より7月18日／後期:9月12日より12月19日まで)

外部受講生ガイダンス:4月11日午後5時30分～6時

(受付:5時より。必ず出席してください。欠席する場合は、ご連絡ください。)

第1回(4月11日)	:バッハのクラヴィーア様式	(尾山 真弓)
第2回(4月25日)	:C.P.E.バッハの『正しいクラヴィーア奏法』(久保田 慶一、森 太郎)	
第3回(5月9日)	:バッハ演奏論(チェンバロ)	(大塚 直哉)
第4回(5月23日)	:バッハ演奏論(ピアノ)	(近藤 伸子)
第5回(6月6日)	:モーツアルトのクラヴィーア様式	(安田 和信)
第6回(6月20日)	:G.テュルクの『クラヴィーア教本』	(東川 清一)
第7回(7月4日)	:モーツアルト演奏論(フォルテピアノ)	(久元 祐子、懸田 貴嗣、大西 律子、立川 和男)
第8回(7月18日)	:モーツアルト演奏論(フォルテピアノ、ピアノ)(森 太郎、久元 祐子)	
第9回(9月12日)	:ベートーヴェンのクラヴィーア様式	(沼口 隆)
第10回(9月26日)	:ベートーヴェンの演奏法理論	(和田 紘平)
第11回(10月10日)	:ベートーヴェン演奏論(フォルテピアノ)	(小川 加恵)
第12回(10月24日)	:ベートーヴェン演奏論(ピアノ)	(安井 耕一)
第13回(11月7日)	:現代のピアノ演奏論	(安井 耕一、未定)
第14回(11月21日)	:現代のピアノ演奏教育論	(未定)
第15回(12月5日)	:「楽譜を読むチカラ」とは	(久保田 慶一)

* 会場はSPC-A教室を使用します。

* 内容、講師については、変更になる場合があります。

応募資格

音楽大学を卒業した者、またはそれと同等の能力を有すると当音楽研究所が認めた者。

募集人員 30名(定員に達し次第、募集を停止しますので、ご了承ください)

出願手続き

出願期間:2012年3月12日(月)～4月10日(火)必着

出願先

〒190-8520 立川市柏町5-5-1 国立音楽大学音楽研究所 プロジェクト「楽譜を読むチカラ」
(必ず郵送とし、封筒に「外部受講生願書在中」と朱書きのこと。)

外部受講生ガイド

日時:2012年4月11日(水)午後5時30分より午後6時

場所:国立音楽大学内

研究会の趣旨ならびに諸注意を説明します。必ず出席してください。万が一出席できない場合は、事前にお知らせください。

受講決定の通知と必要書類の送付

ガイド後、メールまたは郵便で通知します。

受講料の支払い手続

2012年4月12日(木)から5月7日(月)の受講料納入期間に、指定の銀行に受講料を振り込んでください。なお、納入期間内に入金されなかった場合には、履修生としての資格を放棄したものとします。

出願書類の請求方法(下記の1, 2のどちらでも可能です)

1. 送料120円の切手を同封の上、郵便で音楽研究所事務室に請求する。
2. 国立音楽大学のホームページより、書類をダウンロードする。

<http://www.kunitachi.ac.jp/>

受講料

受講料 40,000円(年額)

問い合わせ先

国立音楽大学学長事務室 TEL:042-535-9511

E-mail: gakufuyomu@kunitachi.ac.jp